

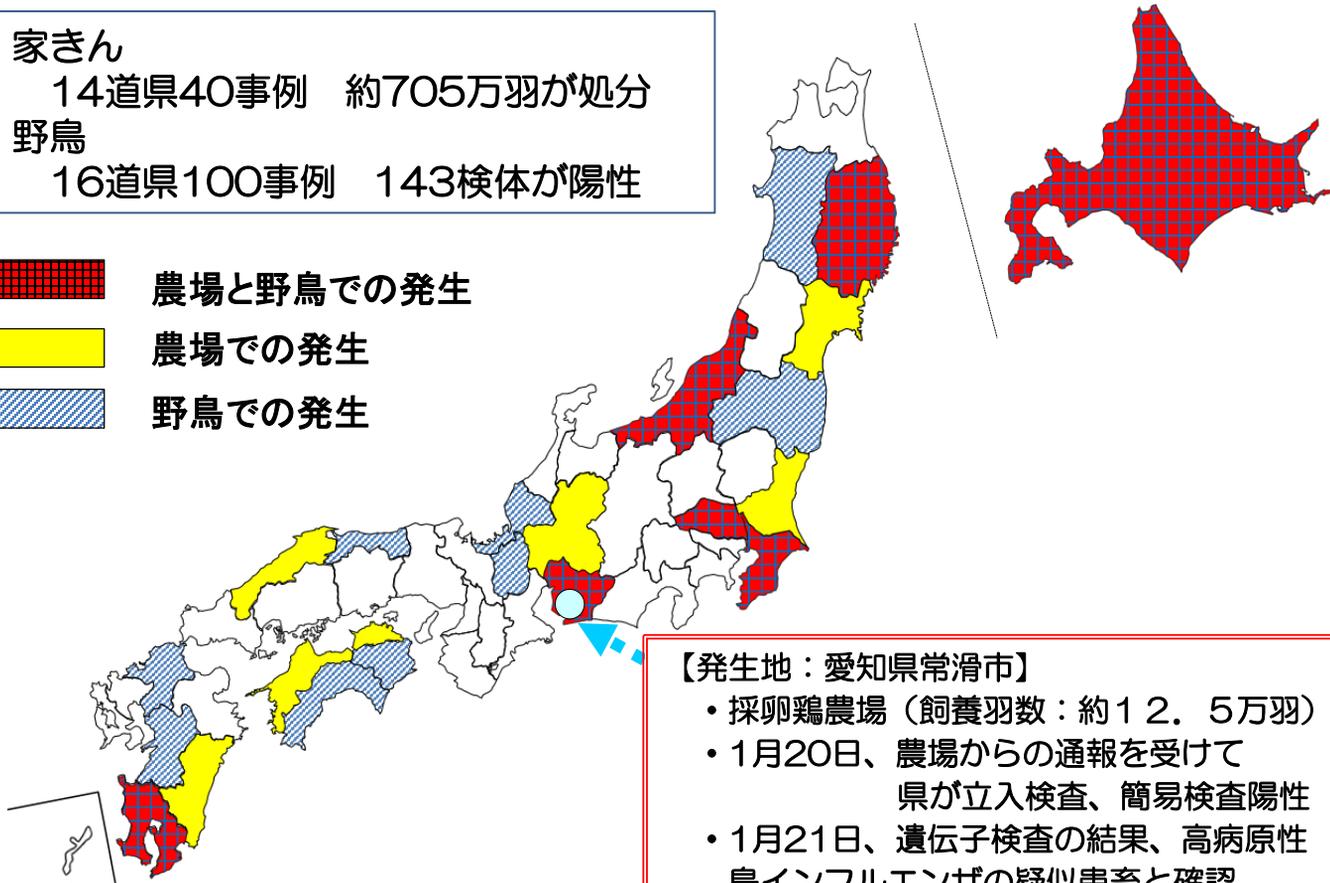
愛知県の採卵鶏農場で高病原性鳥インフルエンザ続発！ ～ 愛知県12例目(国内農場40例目) ～

1月21日に愛知県常滑市の採卵鶏農場で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

家きん飼養農場の皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策の徹底をお願いします。

- ・家きん
14道県40事例 約705万羽が処分
- ・野鳥
16道県100事例 143検体が陽性

-  農場と野鳥での発生
-  農場での発生
-  野鳥での発生



【発生地：愛知県常滑市】

- ・採卵鶏農場（飼養羽数：約12.5万羽）
- ・1月20日、農場からの通報を受けて
県が立入検査、簡易検査陽性
- ・1月21日、遺伝子検査の結果、高病原性
鳥インフルエンザの疑似患畜と確認

【愛知県の発生状況】

- ・常滑市 1月2日に初発、1月21日までに9戸 約86万羽
- ・半田市 1月19日に2戸 約33万羽
- ・阿久比町 1月19日に1戸（うずら） 約25万羽